



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第469号

2020年8月24日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

45分に短縮された議員の質問

2020年第3回定例市議会は、今月27日に開会され、9月28日までの33日間にわたって開かれます。それに先立ち、20日に議会運営委員会が開かれ、コロナ禍のなかでの議会運営について議論が行われました

その内容は、会派代表者会議での協議を受けてのもので

①本会議における議員及び説明員の出席、②本会議における飛沫感染防止措置、③一般質問の実施方法、④決算審査特別委員会での議案説明の簡素化の4点が示されました。

日本共産党が特に指摘した問題は、「質問時間について一人45分とする」というのは、市内の感染者が100人を超え急速に拡大、クラスターも発生している中で、どうやって感染拡大を防ぐのか、八千代市がどのような対応をすべきなのかをチェックし、提案するのが議会の役割であり、「職員のために短縮すべき」という保守・公明などの主張は、市民の安全・安心を最優先に考えているとは思えない。

PCR検査を「いつでも、だれでも、何度でも」

そもそも、感染拡大を防止・抑制するためにも政府が、積極的な役割を果たすべきなのに、野党からの要求である国会も開かず、「GO TOトラベル」キャンペーンを前倒しで実施し、感染拡大を全国に広げてしまっているのです。

日本共産党は、市民の安全安心のためにも、感染震源地を特定し、「いつでも、だれでも、何度でも」(世田谷方式)の実施を求めてまいります。

抜本的なコロナ対策のための補正予算にすべき

9月議会に、一般会計で約16億円の補正予算が提出されます。歳入の主なものとして、コロナ対策の地方創生臨時交付金 15億18百万円、財政調整基金に6億2千万円を繰り入れ、前年度剰余金・市債の増額などで約3億5千万円などです。

歳出では、日本共産党が繰り返し要求してきた「新生児特別定額給付金」が計上されました。その一方、一部の人のためのキャッシュレス決済ポイント付与事業として約4億円、コロナ対策の名目でGIGAスクール構想にあてるコンピュータ教育事業に約7億75百万円が計上されているのは大問題です。日本共産党は、抜本的なコロナ対策を求め補正予算の「組み換え」を提案する予定です。

9月議会日程

8月27日開会 9月2日～4日 一般質問

7日 総務(午前)、福祉(午後) 8日 都市(午前)、文教経済(午後)

10日、11日、14日、15日 決算審査特別委員会 28日 総括審議

